

# 市議会だより

# 遠野



撮影：瀧澤征幸議員

## この道ひとすじ

# 技

—わざ—

花や桃、柿、ウサギなどを見事に形づくったひなまんじゅうを宮守町上宮守で長年作っている佐藤スガ子さん（70歳）。結婚後、地域での活動からひなまんじゅう作りを近所に広め、今では、県内各地で講習会や市内の小学校、緑峰高校でも定期的に料理指導にあたる。平成10年には岩手県の食の匠に認定され、依頼があれば結婚式や誕生日、節句などにも作っている。生地のうち粉ともち粉を熱湯で適度にあわせ、よく煉ることがおいしく作るコツとのこと。

## 主な内容

11月臨時会・12月定例会



- 新遠野市予算決まる
- 助役が兼掌により収入役廃止
- 元気ネットワーク構想に期待

# 平成17年度新遠野市予算決まる



合併後初の定例会を開催した議場

## 11月臨時会

平成17年第2回臨時会が11月25日に開催され、人事案件等を原案のとおり可決しました。

### 議案

- 遠野市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例を廃止する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
- 遠野市収入役の事務の兼掌に関する条例の制定について
- 遠野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 助役の選任につき同意を求めることについて  
白井悦男氏
- 教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて  
浅沼敬治氏、及川増徳氏、似内宏和氏、佐々木るみ子氏、角田直樹氏
- 監査委員の選任につき同意を求めることについて  
菊池君男氏、瀧本孝一氏、安藤龍太郎氏
- 固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて  
高木一氏、三松光三氏、菊池武夫氏
- 固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて  
白井悦男氏
- 遠野市選挙管理委員会委員  
長畑耕逸氏、藤村正子氏、石直典高氏、中村哲弘氏
- 遠野市選挙管理委員会委員補充員  
菊池國生氏、菊池光康氏、藤原光雄氏、菊池政彰氏

## 12月定例会

平成17年第3回定例会(12月議会)を12月9日から19日までの11日間開催しました。

今定例会では、市長の所信表明演述があり、一般質問には10人の議員が登壇して、新市の施策全般にわたり質問がありました。

提案された条例3件、一般会計予算(112億7,800万円)他予算9件、その他3件、人事案件1件全17議案を原案のとおり可決しました。

また、最終日には請願1件と議員発議による意見書3件、遠野型ツーリズム調査特別委員会の設置1件を可決して、同委員の選出を行いました。

### 議案

- 遠野市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の制定について
- 遠野市財産評価審議会条例の制定について
- 遠野市宮守町簡易水道事業設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて
- 玉山村の岩手県市町村総合事務組合からの脱退に伴う財産処分の協議に関し議決を求めることについて
- 市道路線の認定について
- 平成17年度遠野市一般会計予算
- 平成17年度遠野市国民健康保険特別会計予算、老人保健特別会計予算、介護保険特別会計予算、ケーブルテレビ事業特別会計予算、浄化槽事業特別会計予算、宮守町簡易水道事業特別会計予算、農業集落排水事業特別会計予算、下水道事業特別会計予算、遠野市水道事業会計予算
- 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて  
泉澤和子氏

### 討論(議会に付すべき財産の取得等の条例)

**及川昇一議員** この条例では土地は1件5,000㎡以上、金額では2,000万円以上は議決が必要とある。しかし5,000㎡未満の土地だとどんなに高額(例5,000万円)であっても議決の必要がなく、歯止めがきかない条例なので反対する。





瀧澤 征幸 議員

【質問】 今後取組む行財政改革と合併特例債の活用方法について伺いたい。

【市長】 遠野市としては、足腰が強く、体力を兼ね備えた自治体を目指し、行財政基盤強化に向けた経営改革に積極的に取り組む。また、

合併特例債について、合併後のハード事業への充当、基金事業としての伝統文化伝承事業や商店街活性化対策事業等ソフト事業への活用を考えている。金額にして起債可能額の95%に相当する72億1千万円を見込んでいるが、来年2月に策定する新市健全財政5ヵ年計画で更に精査していく。

【質問】 宮守町への優先行政施策は。

【市長】 その主なものは、平成19年4月の放送開始を目標に遠野ケーブルテレビ普及を目指す。2つ目は、住民に身近で大切な保健・医療・福祉の推進であり、健康福祉の里を中心に緊密な連携・強化を図る。3つ目は、学習・芸術についてである。文化交流施設「みやもりホール」を市民センターと共に芸術・文化の拠点施設として活用していく。

【質問】 遠野市教育行政の方向は。

【教育長】 学校教育の面では、特に中学校において、生徒数の減少に伴い、学校のあり方、再編について検討する必要がある。また、学力向上対策や老朽校舎の計画的整備、学校給食事業の見直しなどである。

社会教育の面では、生涯学習社会に対応した学習支援、スポーツ事業の展開と競技スポーツの強化・支援、家庭教育の振興、文化財の保存・活用などである。

また、新遠野市の教育目標の設定や教育基本計画の策定も進めなければならない。

これら主な課題は、早急に検討・整理をし、できるだけ早い時期に実施できるよう取組んでいきたい。



子供のころからスポーツ振興を

## 遠野型住宅建設の普及推進を

【質問】 新市を担う市長の市政運営についてどんな姿勢で取り組むのか。新市のまちづくりの基本理念としての「二つの個性の融合化」を進める方法は。合併してよかったと思われる将来像は。

【市長】 責任の重大さを痛感している。緊張感を持って市政運営にあたる。「市民との対話、現場重視、公平・公正・公開」を大切にし、地域経営に取り組み、選挙公約の15の主要プログラムに早急に取り組むことが大事と考えている。農業の活性化や遠野テレビを宮守町に拡大し、情報の共有化等、総合力で取り組む。

【質問】 収入役の事務を助役が兼掌する理由と監査委員を3人体制にする理由は。

【市長】 収入役については、助役と収入役の事務の点検と確認の結果、合理化し兼掌も可能と判断した。監査委員は、行政執行を確立するうえで監査機能の強化、充実は重要と考え、3人体制を図った。



菊池 民彌 議員

【質問】 仮称「岩手県災害備蓄センター」を本市に誘致する考えはないか。防災マップを作成する考えはないか。消防庁舎の建設はいつの年度か。

【市長】 備蓄施設と消防庁舎は、一体と考える必要がある。庁舎は、総合的な消防防災拠点施設として計画に入れる。調査・検討の職員体制も整えた。備蓄センターについては、国や県を説得できる状況をつくり提案していきたい。

【消防長】 防災マップは市民の防災の手引きとして必要だ。防災計画と併せ、作成に取り組む。

【質問】 地場産材を利用した遠野型住宅建設の普及推進を図るべきと思うが。

【市長】 遠野型住宅の普及は、地産地消という観点からも、遠野産材を使った遠野式、循環型林産業の振興に直接的に寄与するものであり、今後も積極的に取り組みたい。

【質問】 市の事業の徹底した仕分け作業を行い、市の事業として本当に必要なものか、不要なものはないか、必要な事業であっても民間がやった方がよいものはないか、どうしても行政がやるべきことか検討を求める。また、職員の定数管理、職員の諸手当、給与の適正化など官民の格差を踏まえ、市民の肌感覚で納得、理解が得られる算定方法も新遠野市としてあってもよいと考えるがどうか。



今年もにぎやかに集った成人式

【市長】 事務事業の見直しについては、事務事業評価制度をさらに徹底して取り組み整理し、その結果を新たな施策に反映させるよう大胆に取り組む。職員定数管理については今後、県からの権限委譲等、市の役割や対応すべき行政需要への体制を見据え、定員適正化計画を策定する。なお合併協議会で確認されている計画もさらに踏み込んで計画達成の前倒しができるよう取り組む。また、給与の適正化、職員手当の総点検については、人件費の総枠抑制、勤務手当など職員の理解と協力を求めながら取り組む。



石橋 達八 議員

【質問】 市民の安心、安全施策は行政の骨格である。中部地方の市からも要望のある災害時の都市間の相互支援協定が必要ないか。

【市長】 平成の大合併により、市町村のくくりも変わっている。今後、都市間交流のあり方など全体的な見直しをする中で、災害支援等の協定についても検討を行っていく。

【質問】 火災による死者が増加傾向にある。新遠野市民から犠牲者を出してはならない。火災報知器が今後、義務化されることにともない、一人暮らしの高齢者や在宅介護等の対象者への助成を求めたいが、どうなっているのか。

【健康福祉部長】 火災報知器の設置は、新築では平成18年6月から、既存住宅では21年6月から義務化される。要援護者、高齢者等を対象に18年度は200台の助成の予算化を進めている。

【質問】 「永遠の日本のふるさと」を目指すに当たって、具体的施策は何か

【市長】 新市まちづくりの基本方針は、私の政治理念である「公平・公正・公開」をすべての基本とするものである。市民との直接対話、先導プロジェクト事業、地域づくりの市民協働意識、一体感の醸成、

遠野ブランドの確立、財政の健全化等、合併に伴い多くの可能性を目指し、全身全霊をかけて市政に取り組みたい。

【質問】 子育て、若者支援対策についての考え方について、若い人達が安心して子育てが出来る遠野型の総合的「子育て特区」を創造することが必要と思うが、その施策はどうか。

【市長】 少子高齢化は全国的に進んでおり少子化対策、子育て支援は遠野市において重要課題である。現在100を超える子育て支援事業を展開しているが、遠野らしいキラリと光る施策はなかなか難しい課題である。若者の雇用の場の確保と併せ「特区的」構想が可能かどうか十分検討してみたい。

【質問】 環境保全、農地保全への考え方について、遠野郷は永遠の日本のふるさとである。人間生活が調和する遠野型の社会を目指すため「農地の保全条例」を制定してはどうか。



菊池 一勇 議員

【市長】 「ふるさと遠野の環境を守り育てる基本条例」を平成16年に制定し、農地を含めたすばらしい景観を守ることに努力している。農業活性化本部を中心に農地の有効利用の手順が取られることが先決と考えている。

【質問】 永遠の日本のふるさとを標榜した以上、日本一安全、安心の町づくりをしなければと思うが、どう取り組むのか。

【市長】 地域の連携、協力が大切であり、関係機関・団体と綿密な連携を持ちたいと考える。

新市まちづくりの基本方針は

市民の安心・安全対策は





松田 初議員

【質問】 今年の産米はカメムシの被害で、1等米比率が悪化して農家の収入減を招いている。被害を受けた米粒を取り除く機械を購入する検討をすべきだが。

【市長】 色彩選別機を導入すれば1等米比率が上がり、

農家所得向上につながることは承知している。今年も運搬費、選別料をかけ機械整備している所に依頼し、被害米調整をしている。現在行っている学校給食にも役立つものであり、地産地消推進にも機械導入の効果が大きい。JA遠野からも話があり、前向きに購入を検討中である。

【質問】 2年ぶりの米国牛肉輸入再開を機にまた合併記念施策として、公共牧場使用料を安くすること、高齢者等貸付牛購入事業枠の拡大をすることなど増頭策が必要ではないか。

【市長】 貸付希望者は相当多く、本年度も予算を増額し貸付牛の拡大に努めている。公共牧場については、畜産公社経営改革委員会の放牧専門部会で再三協議している。規模拡大を目指す畜産農家に遊休パイプハウスの材料支給と一部組立費支援も検討している。

【質問】 教育委員会に専門の中学校再編担当職員を配置されたが、今後の計画は。

【教育委員長】 生徒数が966人から10年後717人に減る見込み。平成20年度は全校生徒30人台の中学校が複数校となることから、平成19年度中には一定の結論を出したい。今年度は内部検討委員会、その後、保護者や地域の方々で構成する外部検討委員会とし、地域懇談会開催など今後の中学校のあり方を全体の課題として話し合いを進める。

【質問】 若者の活動拠点の整備を。

【教育長】 明るくて使い易くなるような改修を検討する。



地域振興のために宮守地域まちづくり会議が発足した

## 宮守町の新たな振興策は

【質問】 10月1日の合併により、宮守総合支所に勤務する職員数も合併前の約80名に対し、約50名が本所に異動したため、大幅な減少となった。また、宮守町の区域で開催していた産業まつりや郷土芸能まつりなどのイベントや各種会議・会合等も減少すると受け止めている。

このことにより、合併後に宮守町に与える地域経済への影響は少なからず発生しており今後さらに拡大が懸念されることから、新たな振興策について伺いたい。

【市長】 宮守町の新たな振興策については、職員数の減員や各種会議・会合等の機会が減少することによる地域経済の影響については、ご指摘の通り懸念される事項である。

その支援策として、来年3月で完成の運びとなる宮守ホールや既存施設である総合支所や総合センター等の公共施設の有効活用の観点から、今月中に設置を予定している宮守地域まちづくり会議の意見、提言をいただきながら、宮守町独自の地域活動や都市との交流事業などの様々な活動を宮守町という新たなキャンパスで展開し活性化を進めて参りたい。



菊池 充議員

【質問】 構造改革特区で「日本のふるさと再生特区」の認定を受けて取り組まれている企業の農業参入の実態について、農業生産100億円達成アクションプランとの位置付けも含めて、取り組みの成果と今後の支援策について伺いたい。

【市長】 特区については、建設業2社がハウレン草と菌床椎茸栽培に取り組み雇用の拡大に成果を上げている。新たな企業が参入を検討しており環境を整えながら、農業生産100億円の達成に向けて、生産事業体として支援をしていく。また、遊休農地の解消についても企業や農

家とAST（アスト）との連携を図りながら努めたい。

※AST（アスト）…農業活性化本部

【質問】 現在は応益割が53%となっている国保税をどのように決める予定か。5月末現在国保税の滞納世帯は旧遠野市538世帯9.33%、旧宮守村46世帯4.47%で、未収額は1億2,000万円ほどあるが、原因は何か検討したことがあるか。

【市長】 応益割が55%を超えないようにする。国保税が市税滞納額の5割近くであるが職員が未納者の声を聞き対処し一定の効果があつたが、社会情勢から厳しい状況にある。

【質問】 9月1日現在43世帯に交付されている資格証明書は、税を納めていない、窓口で全額負担してくださいという証明である。病院にかかれないのでは、短期被保険者証の発行が出来るよう努力すべきと思うが。

【市長】 権利の制限であることから国保税滞納措置認定審査委員会で慎重審議のうえ決定している。特別の事情がある者のほか、納付努力をしている者は対象としないこととしている。

【質問】 生きがい対策でそれぞれ違いがある一人暮らし老人に対する対策をどのように進めるのか。在宅介護から施設介護に変えようとしても、入所できない状況にあることは、制度そのものが問われるのではないか。また、待機者が3月末現在106名もいるようだが、その対策は。

【市長】 託老所関連事業は結論が出ず調整中だが、一人暮らしや待機者対策は生活支援ハウスの利用や生活管理指導短期宿泊事業で対応等既存施設の活用と小規模多機能施設の整備充実で安心と安全確保に努める。



今後、介護保険事業に公の施設利用が想定される



及川 昇一 議員

【質問】 平成17年度から中山間地直接支払制度が新制度になった。今後5年間続くが、その間に期待できる内容・効果は何か。耕作放棄地の発生を防ぐだけではなく、生産性向上や担い手育成を促し、農業生産活動を将来にわたって続けられるよう、前向きな取り組みと地域課題を把握しその解決に向けた対策と将来像をどう取り組むのか。

【市長】 新制度は農作業機械の共同購入、共同利用「一集落一農場」の考えもあって、個人配分せず、今まで以上に水路の大型補修・機械収納庫の建設等や農地保全、集落全体のために活用する計画を立てた集落が増えた。この制度を有効に活用し、農地保全はもとより、担い手育成を促進し、地域一体となって農業振興を推進する集落がもっと増えるよう努力していきたい。

【質問】 国の地域再生計画に認定された「地域が家族いつまでも元気ネットワーク構想」で保養施設の活用方法が清養園クリーンセンター、たかむろ水光園等に計画作成する事だったが、なかなか計画が見えない。公の施設を介護保険事業に使用する事は良いことだが、具体的な進捗状況を示して欲しい。既存施設を活用した小規模多機能型居宅介護施設の計画を示して欲しい。

【市長】 平成17年4月に「地域介護・福祉空間整備等交付金」の創設に結びつき5月に市を4つの各圏域の施設整備計画を国に申請をし、8月に遠野・松崎圏域における施設整備に交付金内示があり、認知症高齢者グループホームと認知症対応型デイサービスセンターを整備する。小規模多機能型居宅介護拠点施設の2箇所は「小友・綾織圏域」は清養園に、「附馬牛・土淵圏域」は水光園に整備を想定している。



織笠 孝之 議員

中山間地の地域経営について

国民健康保険事業と介護事業について





佐々木 紀雄 議員

**【質問】** 遠野広域経済圏について具体的な範囲と、どういうメリットが考えられるか。今後の本市における産業振興の方向性を示すものになると思うが、具体的な推進方法は。

**【市長】** 範囲としては隣接する市町村を想定している。今後ますます増えると思われる、内陸から沿岸への物流の中間点にある本市の地理的利点をいかし、産業振興を図りたい。内陸との連携を強化することにより雇用面や企業誘致等においても成果を見込める。

また、国道396号線の利点をいかし、盛岡市とも連携を図っていく。高速交通網が整備されても通過点にならないように、観光面でも周辺市町村と連携して観光客の誘致に努める。推進方法としては経済圏のくりにある市町村と協議会のようなものを作るのも一つの方法と思う。担当職員を配置した中心商店街活性化とも連動して遠野を訪れる人が商店街にも足を運ぶような流れを作っていく。

**【質問】** 宮守町の児童館整備について、旧遠野市と旧宮守村で児童館の運営方法が大きく異なるが、宮守町への児童館設置の展望も含めて、今後の運営方針を示せないか。

**【市長】** 宮守地区で開催された市長と語ろう会でも答えたように、児童館設置の要望に沿った形ですすめていきたいと考えている。来年度から設置していきたいと考えているが、小学校が3校あるので、それぞれ検討しながら設置していくことになる。

運営については今後協議していくことになるが、旧遠野市と同じように保育協会に委託する方向が考えられる。



各地区への児童館整備が望まれる

### 第3セクターの見直しは

**【質問】** 建設請負契約の締結に関する説明において、議会を通す前には判決次第では損害賠償を取ると説明し、議会を通した後になって、損害賠償を取らない等の説明は行政のモラルハザード（倫理観の欠如）そのものではないか。

**【市長】** 説明不足だったことは認識しており、お詫び申し上げます。今後は万全を期して誠意を持って対応したい。

**【質問】** 第3セクターの見直しをどう進めるのか。

**【市長】** 11月に設置した経営改革プロジェクトチーム及び経営改革推進本部で厳しく検証を行い、時期を失することなく、再編を含め目的を達したものについては、解散または出資の引き揚げ等を検討する。

**【質問】** ますます厳しくなる農業環境に農家は、農業政策の今後のプロセスに期待しているが。

**【市長】** 農家の生産現場からの提案を支援するため、計画策定を年明けには具体的に示したい。



細川 幸男 議員

**【質問】** 中高一貫教育をも視野に入れながら中学校を統合する考えは。

**【教育長】** 統合を検討する中で、中高一貫教育についても検討する事項に入る。

**【質問】** 上郷小学校の屋根付プール設置の見通しは。

**【教育長】** 校舎の改築を進めている中で設置場所は現計画に盛り込んでいる。

**【質問】** 子供たちの成績は県下で下位、教育委員会は上位等や一個人の生徒に対する感情的な説明も前教育長は自ら答弁していたが、今後とも同様の考えか。

**【教育委員長】** 評価は常に変化するものであり、一層の向上と業務遂行のため、教育委員会関係職員と共に精進したい。

**【質問】** あえりあ遠野の計画は、6億5,000万円を株式会社遠野に負担させるとした約束であった事を知っているか。

**【代表監査委員】** 議会で議決され、適正に執行されているとの認識にある。

予算等審査特別委員会 12月15日～16日

予算等審査特別委員会（議長を除く36人の議員で構成、委員長小笠原隆男議員、副委員長浅沼幸雄議員）は、条例3件、予算10件、その他3件の16議案について付託を受けて2日間の審議を行いました。

今定例会では合併後初めての委員会審議となり、議会に付すべき契約及び財産の取得等の条例、福祉施策や米の生産調整に係わる農業振興策等について活発な質疑が交わされました。その結果、全16議案が原案のとおり可決されました。



合併後のよりよいまちづくりが期待される

## 地域が家族いつまでも元気ネットワーク構想に期待

### 議会に付すべき財産の取得等の条例について

**【質問】** 条例案によると議会に付さなければならない財産の取得又は処分は、予定価格2,000万円以上の不動産若しくは動産の買入れ若しくは売払い（土地にあっては、その面積が1件5,000㎡以上のものに係るものに限る。）とあるが、土地の場合、5,000㎡未満であれば2,000万円を越えても議会の議決に付さなくてもよいのか。

**【答弁】** その通りである。

**【質問】** そうすると5,000㎡未満の土地の場合取引金額の上限がなく、歯止めがきかなくなるのではないか。

**【答弁】** 金額及び面積は地方自治法施行令で定められている最低の基準なので変えられないが、予算審議あるいは議員全員協議会等で説明し理解を求めながら事業執行していく。



牧場使用料の平準化が課題となっている

### 市営牧場の使用料は

**【質問】** 牧場使用料は旧遠野市が2,200万円、旧宮守村100万円と大きい差があるがその内訳は。

**【答弁】** 使用料の内訳は旧遠野市の平均は1頭1日当たり230円で1,700頭、旧宮守村は1頭1日当たり99円で230頭になっている。

**【質問】** 畜産農家では使用料の安い方に放牧する現象が起きてこないか。また、法定協では早い時期に是正するとなっていたが、附属施設の活用を含め市営牧場の運営をどう考えるか。

**【答弁】** 現状、使用料の安い寺沢牧場は満杯の状態にある。旧遠野市、旧宮守村の畜産への取り組みもあることから附属施設の活用も含め新遠野市として畜産振興のあり方、利用の指針等を検討し平準化を図って行きたい。

### 区長報酬について

**【質問】** 旧遠野市の場合、世帯数に関係なく区長に対して、同一額の報酬を出しているようだが、一行政区60世帯でも、600世帯でも同一額では納得しないが、いつまで続ける予定なのか。

**【答弁】** 区長報酬は世帯数に多少の差があるが、18年度以降も遠野市の例にならない同一額を出す考えである。

**【質問】** 世帯数は多少ではなく10倍以上の差がある。平等割や地域の広さ、世帯数等を勘案して決めるべきだと思う。60枚と600枚を区分するのでは大きな差があるが、それでも同額なのか。

**【答弁】** 確かに600世帯を超える地域もあり、大きな差があるが、遠野市の例にならうことにしている。



**元気ネットワーク  
事業の内容は**

**【質問】** 地域が家族いつまでも元気ネットワーク事業の内容は。また宮守地域において予防介護に大きな役割を担ってきた託老事業だが今後の見通しは。

**【答弁】** 国からの補助を受け、高齢者への介護サービス等を提供する小規模施設を配置し在宅福祉を推進するもので、今年度は松崎町に施設を設置するものである。

宮守町の託老事業は旧遠野市でもふれあいホームという形で同じような事業を展開してきた。17年度に介護保険制度と老人福祉制度が見直しされたことにより国からの補助を活用した本事業にも影響があると考えられるが、今までと同じようなサービスを提供できるように、今後協議していきたい。

**米の生産調整  
配分について**

**【質問】** 県の発表では2006年産米目標数量11,217t、3.77%減の数値は県下で遠野が一番多いではないのか。厳しい数値の配分を受けたときに市担当課はすぐに対応しないのか。この配分では、米生産農家としては納得いかない。作況指数が104と豊作のために数値が多いのではないのか。

**【答弁】** 県配分は基準が定められている。反収の関係や作況指数の関係もある。県の配分に対して反応が遅すぎる事は事実であり、今後は、即反応できる努力をしてみたい。



市民の安全、安心を守る消防団

**耐震診断事業  
について**

**【質問】** 市庁舎の耐震は大丈夫か。

**【答弁】** 耐震度的には劣っているが、当面は維持補修しながらこのまま持たせたい。

**【質問】** 民間木造住宅等の耐震診断事業の内容の詳細はどうなっているか。

**【答弁】** 県事業で、昭和56年5月31日以前に建築確認を受けた木造住宅等において、その耐震度を調べる事業である。一戸あたり3万円の費用のうち、個人負担が3千円、あとは国・県の補助を受けて市が負担して行う。一応今年度は30戸を予定しており、旧遠野市25戸、旧宮守村5戸となっている。5年かけてこの事業を実施するが、耐震度に問題のある建物があった場合、県内の動向を見ながら、その対応等を決定して参りたい。

**誤報による消防  
出動について**

**【質問】** 火災発生が防災無線で放送されたが、その後誤報であったとのこと。前回はそうであったが、その内容の詳細は。

**【答弁】** 過日の火災は全くの虚偽の通報であり、誤報ではない。

**【質問】** そうすると、全く嘘をついているということであるが、消防署ではどういう対応をしているのか。

**【答弁】** 火災通報である以上、必ず出動することになっており、出動せざるを得ない。

**【質問】** 携帯電話での通報であったということであるが、逆探知はできないものか。

**【答弁】** 携帯電話はいつでも非通知であった。今後は確認、特定をすることができるよう対策を検討したい。

**議員談話室**

地方分権一括法の施行に伴い旧遠野市、旧宮守村が合併。新遠野市が誕生と同時に両市村議会も13箇月の在任特例を適用し、互譲の精神で融和し新遠野市議会を発足した。今後は新市の将来像である「永遠の日本のふるさと」を目指し、市民ニーズに的確に応えられる新市総合発展計画の策定に努め、真に潤いと豊かさの実感できる町づくりにまい進したいものです。

議会は市民の声に真摯に耳を傾け、それを市政に反映せしめる責務があると思いますが、市当局とはいたずらに摩擦を起すようなことは避けなければなりません。同時に安易な妥協に陥ることがあってはなりません。

市政発展のうえに立って正しく相携えて市民の信託に応える新遠野郷の発展に努力したいものです。

(多田嘉一議員)

### 請願審査報告

今定例会には、1件の請願が提出されました。

産業建設常任委員会における審査及び本会議の議決結果は以下のとおりでした。

#### ☆稲荷下第二地区土地区画整理事業の早期完成を求める請願

〔請願者 遠野町第十五区自治会会長 小松喜一〕

《審議結果 採択》

《採択とした理由》

請願者の願意を尊重のうえ、請願の趣旨を了として全会一致をもって採択とした。

#### ☆議会制度改革の早期実現に関する意見書

【要旨】本格的な地方分権時代を迎え、地方議会制度の抜本的な制度改革を行うことを求める。

#### ☆道路特定財源制度の堅持を求める意見書

【要旨】地方の道路整備の財源を確保するため、道路特定財源制度を堅持することを求める。

#### ☆遠野型ツーリズム調査特別委員会の設置について

【要旨】交流人口から定住人口の拡大をはかるため、遠野型ツーリズムの調査研究を実施する。

委員長・・・菊池功明  
副委員長・・・新田勝見  
菊池 充 瀧澤征幸  
小松大成 浅沼幸雄  
菊池敏行 多田順一  
伊藤庄吉

### 議員発議案

今定例会には、4件の発議案が提出され、原案のとおり可決しました。可決した意見書等は以下のとおり。

#### ☆真の地方分権改革の確実な実現に関する意見書

【要旨】三位一体の改革において、地方の改革案に沿った更なる改革を引き続き推進することを求める。

### 意見書の送付

今定例会で可決した意見書3件は、平成17年12月19日付け、遠野市議会名で内閣総理大臣、総務、財務、国土交通、経済財政政策・金融担当各大臣あてに送付しました。



わたしのひとこと

宮守町にも  
児童館を

下村 安由美さん  
宮守町上宮守

過疎、少子化が進み、子供たちの放課後の遊び相手不足は深刻です。子供を狙った犯罪のニュースも後を絶たず、昔のように子供同士が自由に誘い合って互いに行き来して遊ぶことすら難しくなっています。

今のままでは、テレビゲーム等では味わうことのできない「遊びの醍醐味」をたくさんの仲間と共に味わい、分かち合う経験が少なすぎると思います。

未来の担い手である子供たちが遊びを通して身も心もたくましく健康で育つための環境づくりは、後回しにできない状況です。

子供たちの「遊ぶ権利」を満たす第一歩として、宮守町にも「健全育成型児童館」の一日も早い設立をと、切に願います。

### 3月定例会の予定

◆定例会は2月24日(金)開会の予定です。

詳しくは議会事務局まで。

○議会へのご意見、ご要望をお待ちしております。

議会事務局62-2111 (内線271)

gikai@city.tono.iwate.jp

### 編集後記



合併して初の定例会で、本田初代市長の市政運営についての所信表明演述があった。新市の将来像「永遠の日本のふるさと」実現に全身全霊をささげると述べた。その具体的基本計画は9月までに示す予定。合併して良かったと言われる新市の「総合計画」策定に、市民の大きな期待がかかっている。

一般質問には10人が登壇し、2日半の日程で行われた。質疑応答の記事は、質問者自身の責任でまとめた原稿によるもの。合併から3月までの予算などを審議する特別委員会は2日間だったが、2日目は夜の10時近くまで続いた。その中から委員会審議の7項目について掲載となった。合併して日が浅く、新市の課題について心ゆくまで議論が必要な所であり、もっとやりとりを詳細に載せたいけれども、紙面制約に免じてご理解を賜りたい。

(初)